

翁

シテ

ツレ

翁

千歳

狂言

三番叟

季は地は  
稚 知らず

翁「とうくたらりくら。たらりあがりらゝりとう。

地「ちりやたらりたらりら。たらりあがりらゝりとう。

翁「所千代までおはしませ。

地「我等も千秋さぶらはう。

翁「鶴と亀との齢にて。

地「幸心に任せたり。

翁「とうくたらりくら。

地「ちりやたらりたらりら。たらりあがりらゝりとう。

千歳「鳴るは滝の水。鳴るは滝の水日は照るとも。  
地「絶えずとうたり。ありうとうとうとう。

千歳「絶えずとうたり。常にとうたり。(千歳舞)

「君の千歳を経ん事も。天津乙女の羽衣よ。鳴るは  
滝の水日は照るとも。

地「絶えずとうたり。ありうとうとうとう。

翁「総角やとんどや。

地「尋ばかりやとんどや。

翁 「やあ座して居たれども。

地 「参らうれんげりやとんどや。

翁 「千早振。神のひこさの昔より。久しかれとぞ祝ひ。

地 「そよやりちやんや。

翁 「凡そ千年の鶴は。万歳樂と歌うたり。又万代の池の亀は。甲に三極を備へたり。渚の砂索々として。朝の日の色を朗じ。滝の水冷々として。夜の月あざやかに浮んだり。天下泰平国土安穩。今日の御

祈禱なり。在原やなぞの翁ども。

地 「あれはなぞの翁ども。そや何くの翁とうとう。

翁 「そよや。(神ガク)

翁 「千秋万歳の歎びの舞なれば。一舞まはう万歳樂。

地 「万歳樂。

翁 「万歳樂。

地 「万歳樂。

底本：国立国会図書館デジタルコレクション『謡曲評积 第五輯』大和田建樹著